

# 菖蒲の庭から

〒250-0866 小田原市中曾根359  
 小田原市立東富水小学校だより  
 ☎ 36-3236 FAX 36-0974  
 文責 校長 森戸義久



## あれから4年が経とうとしています

来月の3月11日で、あの忌まわしい東日本大震災から4年が経ちます。地震はいつ起こるか全くわかりません。「喉元過ぎれば熱さを忘れる」のことわざの通り、年月の経過とともに、危機感が薄らいでいくものです。こういった機会に、家族で確認しあうことは大切です。



### 【釜石の奇跡から学ぶ…自分で判断して行動する】

みなさんは「釜石の奇跡」をご存知ですか。東日本大震災では18,000人を超える尊い命が失われ、多くの小学生の命も亡くなりました。そんな絶望的状况の中で、99.8%の生存率、子どもの殆どが無事だったのが、岩手県釜石市の小学生と中学生でした。特に釜石小学校は、児童数184人の全員がなんと生き延びていたのです。学校に残っていたのは、卒業式の準備をしていた6年生約10人だけだったそうです。あとの子どもは、下校後に家や遊び場等から1年生も含めて自分自身で判断し、山の高い方へ避難できていたのです。

なぜ、このような行動がとれたのでしょうか。東北地方には、「津波てんでんこ」という言い伝えが昔からあるそうです。「津波がきたら、てんでんばらばらに逃げなさい」といった意味のようで、そうしないと家族や地域が全滅してしまうという教訓です。この「津波てんでんこ」というのは、自分の命に責任を持つということだけではなく、それを家族が信じ合っている、信頼し合っていることが一番大事なことです。そんな家族関係を日頃から築いているところが素晴らしいと思います。学校以外のところで、先生もいない、お父さんやお母さんもいないところで大地震が起きたらどう対応したらいいか、どのように行動したらいいか、話し合いはできていますか？ 継続的に、保護者とお子様とで話し合っていくことは大切です。



### 【過去の大震災から学ぶ…津波だけではない地震の怖さ】

過去の大震災を3つあげるとしたら、次の震災ではないでしょうか。

- ① 1923年(大正12年)9月1日に起こった関東大震災 … 今からおよそ91年前
- ② 1995年(平成17年)1月17日に起こった阪神淡路大震災 … 今からおよそ20年
- ③ 2011年(平成23年)3月11日の東日本大震災 … 今からおよそ4年前

それぞれの大震災での最大の死亡原因は何かご存知ですか。関東大震災では、火災に巻き込まれた人が圧倒的でした。阪神淡路大震災では、建物や家具などの倒壊によって亡くなった方が圧倒的でした。東日本大震災では言うまでもなく、津波に巻き込まれての水死が最大でした。このように、過去の大震災では、被害の規模や内容などが異なっています。

東日本大震災では、今まで見たこともない大きな津波が町をのみ込んでいく映像を何度も見た私たちは津波の恐ろしさが脳に刻み込まれ、地震＝津波と思い込む傾向があるのではないのでしょうか。津波を全く考えなくて良いとは思いませんが、関東大震災の教訓として火事に備えること、阪神淡路大震災の教訓として家屋や家具の倒壊に備えることも合わせて準備しておくことが大切だと思います。また、火事、家屋等の倒壊、津波以外にも、命を奪う危険はまだあります。決めつけしないで、過去の震災の経験からバランス良く学ぶ心構えが大切だと思います。



## 3月の主な行事



- 3月2日(月) 防犯パトロール
- 3月3日(火) 給食費集金(1・2年)
- 3月4日(水) P T A総会・懇談会
- 3月5日(木) 給食費集金(3・4年)
- 3月6日(金) 給食費集金(5・6年)
- 3月16日(月) 防犯パトロール  
6年生泉中学1日体験
- 3月17日(火) 卒業式予行練習
- 3月18日(水) 給食終了
- 3月20日(金) 卒業証書授与式
- 3月25日(火) 修了式

## 青少年読書感想文全国コンクールですごい賞をいただきました！

### － 3年生の近藤友揮さんが、内閣総理大臣賞に－

全国学校図書館協議会と毎日新聞の主催で行われている「青少年読書感想文全国コンクール」で、本校の3年生の近藤友揮さんが小学校・中学年の部で内閣総理大臣賞(最優秀賞)をいただきました。

表彰式は2月6日(金)に、皇太子さまを迎え、東京千代田区の経団連会館で行われました。表彰式の様子はYou Tubeで見ることができますよ。また、2月20日(金)には、市長さんへ受賞の報告にまいりました。

近藤さんが読んだ作品は右にある「ともだちは、サティー」という作品です。ちなみにサティーとはネパール語で友だちという意味です。

#### ◆「ともだちは、サティー」 大塚篤子・著 【あらすじ】

夏休み、父さんの仕事にくっついて、ネパールにやってきた小学5年生のツトム。地図にもっていないヤラ村は、未知のことばかり。せっかくワクワクしていたのに、「おまえは村で放牧の仕事をしてもらう。」と父さんの突然の宣告。しかも、最悪の出会いをした村の少年パニとふたりきりで。言葉も通じないなか、たくましく生きるパニとの交流を通して、少しずつ自分を省みるツトム。思い出すのは、ケンカ別れしてきた親友ゴウのことだった。

## トりにふさわしかった4年生学習発表会

3年生から始まった学習発表会も、2月13日(金)に行われた4年生の学習発表会がトリとなり、年間予定が完了しました。

前半はクラスごとの発表で、1組は演技力抜群の「ごんぎつね」、2組はアイデアに溢れた「創作影絵」、3組はユーモアいっぱい「ほんとうの宝ものは」とそれぞれ個性的な発表となりました。後半は、学年全体で合奏や合唱の発表がありました。学校ホームページでも紹介しています。演奏が聴けますので、お聴きになりたい方は、アクセスしてください。



学年全体での演奏の様子

## すばらしかった6年生を送る会

2月27日(木)に、卒業式に参加できない1～3年生も含めた在校児童全員による「6年生を送る会」が体育館で行われました。開催にあたり、在校生は寄せ書きを作ったり、体育館や階段・廊下の飾り付けを行いました。送る会は5年生を中心に進行し、それぞれの学年ごとの6年生への感謝の気持ちや卒業をお祝いする気持ちの詰まった歌やダンスや呼びかけなどの発表がありました。色とりどりの花びらなどで飾られた会場は、6年生に送る1～5年生の「ありがとう」「おめでとう」のそして、6年生の「ありがとう」の気持ちがががいっぱいにあふれ、とても温かで優しい空気に包まれた会になりました。特に、この日のために練習してきた6年生のお別れ演奏「情熱大陸」は、6年生の伝統を引き継ぐ素晴らしい演奏でした。全員合唱と6年生の演奏はホームページでも聴けるようにしますので、お楽しみに。更新予定は3月2日です。



← 全員合唱の様子 退場(見送り)の様子